



## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本システムウエア株式会社  
 コード番号 9739 URL <http://www.nsw.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 多田 尚二

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 桑原 公生

TEL 03-3770-1111

四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

配当支払開始予定日

平成20年12月5日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	16,308	—	556	—	521	—	452	—
20年3月期第2四半期	17,161	6.4	631	—	608	—	470	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	30	38	—	—
20年3月期第2四半期	31	59	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
21年3月期第2四半期	23,135	—	11,909	—	51.3	797.11	—	
20年3月期	23,518	—	11,582	—	49.1	774.86	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 11,876百万円 20年3月期 11,545百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
21年3月期	—	7.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	32,700	△5.6	1,150	△11.5	1,050	△16.7	750	△40.2	50.34

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 14,900,000株 20年3月期 14,900,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 127株 20年3月期 127株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 14,899,873株 20年3月期第2四半期 14,899,880株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成20年5月15日に発表しました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

(2) 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値が異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参考下さい。

(3) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 個別業績予想

平成 21 年 3 月期の個別業績予想(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	△5.0	1,050	△10.5	1,000	△14.0	730	△37.8	48.99

(注 1) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

(注 2) 平成 20 年 5 月 15 日に発表しました個別業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した世界規模での金融市場の混乱や経済の後退、原油をはじめとするエネルギー・原材料価格の上昇、さらには円高による輸出の増勢鈍化などの影響を受けて企業収益が減少し、また、雇用者所得の伸び悩みや消費者物価の上昇に伴い個人消費が落ち込んだことなどにより、国内景気の減速感が一層強まりました。今後の見通しにつきましては、米国の金融不安や株式・為替市場の変動などから景気がさらに悪化する恐れがあり、先行きに不透明さが増しております。

情報サービス産業界におきましては、国内景気の減速に伴い、顧客企業のIT投資に対する姿勢がより慎重となり、需要の減退が鮮明となりました。今後の見通しにつきましては、当業界の主要取引先である製造業、金融・保険業の需要が大幅に落ち込むことが予想され、先行きは厳しい状況であります。

このような状況下、当社グループは、ECソリューションをはじめとした成長分野における事業の拡充や、製販一体の営業活動による受注拡大、プロジェクトの品質・原価・納期管理の徹底による利益向上など、さらなる成長に向けた施策にグループ一丸となって取り組みました。

売上高につきましては、国内景気の減速に伴う案件受注確定までの期間の長期化とともに、開発案件の一部中止や先送りの動きが拡大したことにより、当初計画を下回りました。経常利益につきましては、需要の伸び悩みに伴う稼働率の低下に加え、質の高い人材を確保するための労務費および外注費の増加により売上総利益が当初計画を下回りましたが、業務効率化により販売費および一般管理費が抑制されたことにより、当初計画をほぼ達成しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、受注高は162億53百万円、売上高は163億8百万円、経常利益は5億21百万円、当期純利益は4億52百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の部門別概況は、次のとおりであります。

#### <ITソリューション>

金融業向けのシステム構築やアウトソーシングサービスは堅調に推移しましたが、国内景気の減速に伴い製造業や卸売・小売業向けの需要が大幅に落ち込んだことにより、当初計画を下回り、受注高は87億81百万円、売上高は90億80百万円となりました。

#### <プロダクト>

システムLSI設計やファームウェア開発の需要は底堅く推移しましたが、組込系システム開発は携帯電話やカーエレクトロニクス関連などの需要が減少したことにより、当初計画を下回り、受注高は64億32百万円、売上高は61億19百万円となりました。

#### <システム機器販売>

金融業向けのパッケージ販売が前年度の旺盛な需要の反動により大幅に落ち込んだことにより、当初計画を下回り、受注高は10億39百万円、売上高は11億8百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、231億35百万円となり、前連結会計年度末比3億82百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少（5億31百万円）、売上債権の減少（7億33百万円）などによるものであります。

総負債は、112億25百万円となり、前連結会計年度末比7億9百万円の減少となりました。主な要因は、借入金の減少（5億60百万円）、仕入債務の減少（4億26百万円）などによるものであります。正味運転資本（流動資産から流動負債を控除した金額）は40億60百万円であり、流動比率は前連結会計年度末と比べ6.3%増加し、151.6%となりました。

純資産は、119億9百万円となり、前連結会計年度末比3億27百万円の増加となりました。自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.2%増加し、51.3%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は国内景気の減速により伸び悩んだものの、利益面は概ね当初予想どおりに推移しました。しかし、第3四半期以降につきましては、景況感がさらに悪化し、受注環境は当初予想よりも厳しくなり、売上高が伸び悩むものと捉えております。また、売上高の伸び悩みに伴い、利益面も当初予想から減少することが見込まれます。

これらを踏まえ、平成20年5月15日に発表した通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

(連結)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	36,000	1,620	1,500	1,160	円 銭 77.85
今回修正予想 (B)	32,700	1,150	1,050	750	50.34
増減額 (B - A)	△3,300	△470	△450	△410	—
増減率 (%)	△9.2%	△29.0%	△30.0%	△35.3%	—
(ご参考) 前期 (平成20年3月期) 実績	34,646	1,299	1,260	1,253	84.11

(個別)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	34,500	1,460	1,400	1,110	円 銭 74.50
今回修正予想 (B)	31,500	1,050	1,000	730	48.99
増減額 (B - A)	△3,000	△410	△400	△380	—
増減率 (%)	△8.7%	△28.1%	△28.6%	△34.2%	—
(ご参考) 前期 (平成20年3月期) 実績	33,173	1,173	1,163	1,173	78.75

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① イ 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

ロ 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ93,621千円減少しております。

- ② 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から早期適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,149,118	2,680,118
受取手形及び売掛金	6,929,488	7,663,282
商品	152,453	451,836
仕掛品	1,633,739	1,019,521
貯蔵品	6,179	6,398
繰延税金資産	707,612	893,621
その他	411,962	302,139
貸倒引当金	△58,683	△65,665
流動資産合計	11,931,869	12,951,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,074,472	3,956,182
土地	4,114,051	4,114,051
その他（純額）	549,337	176,081
有形固定資産合計	8,737,862	8,246,315
無形固定資産	301,658	322,570
投資その他の資産		
投資有価証券	324,573	327,135
敷金及び保証金	763,922	768,033
繰延税金資産	641,656	473,207
その他	868,495	862,735
貸倒引当金	△434,627	△433,154
投資その他の資産合計	2,164,021	1,997,956
固定資産合計	11,203,542	10,566,842
資産合計	23,135,412	23,518,094
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,193,008	2,619,749
短期借入金	3,700,000	4,200,000
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	94,472	96,312
賞与引当金	723,782	840,640
その他	1,040,588	1,037,262
流動負債合計	7,871,851	8,913,965

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債		
長期借入金	1,920,000	1,980,000
退職給付引当金	783,039	709,963
役員退職慰労引当金	329,973	331,402
その他	320,718	—
固定負債合計	3,353,731	3,021,366
負債合計	11,225,582	11,935,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,538,300	2,538,300
資本剰余金	3,047,780	3,047,780
利益剰余金	6,280,923	5,939,985
自己株式	△86	△86
株主資本合計	11,866,917	11,525,978
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,722	14,415
繰延ヘッジ損益	△1,854	4,943
評価・換算差額等合計	9,867	19,359
少数株主持分	33,044	37,424
純資産合計	11,909,829	11,582,762
負債純資産合計	23,135,412	23,518,094

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	16,308,671
売上原価	13,791,336
売上総利益	2,517,335
販売費及び一般管理費	
役員報酬	79,153
執行役員報酬	32,553
給料手当及び賞与	893,970
賞与引当金繰入額	66,620
退職給付費用	60,920
福利厚生費	122,825
通信交通費	100,270
業務委託費	107,976
賃借料	122,095
その他	374,659
販売費及び一般管理費合計	1,961,046
営業利益	556,288
営業外収益	
受取利息	215
受取配当金	621
負ののれん償却額	2,613
持分法による投資利益	6,069
受取手数料	4,786
その他	7,980
営業外収益合計	22,285
営業外費用	
支払利息	56,829
その他	521
営業外費用合計	57,350
経常利益	521,223
特別利益	
貸倒引当金戻入額	5,509
持分変動利益	1,934
特別利益合計	7,443
特別損失	
固定資産除却損	3,378
特別損失合計	3,378
税金等調整前四半期純利益	525,288
法人税、住民税及び事業税	50,260
法人税等調整額	19,407
法人税等合計	69,667
少数株主利益	2,933
四半期純利益	452,687

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	8,968,913
売上原価	7,409,680
売上総利益	1,559,233
販売費及び一般管理費	
役員報酬	42,951
執行役員報酬	12,810
給料手当及び賞与	427,065
貸倒引当金繰入額	17,326
賞与引当金繰入額	18,890
退職給付費用	27,369
福利厚生費	59,132
通信交通費	48,431
業務委託費	54,560
賃借料	57,725
その他	184,972
販売費及び一般管理費合計	951,236
営業利益	607,996
営業外収益	
受取利息	215
持分法による投資利益	5,997
受取手数料	2,386
その他	5,479
営業外収益合計	14,079
営業外費用	
支払利息	27,784
その他	163
営業外費用合計	27,947
経常利益	594,127
特別利益	
持分変動利益	745
特別利益合計	745
特別損失	
固定資産除却損	99
特別損失合計	99
税金等調整前四半期純利益	594,773
法人税、住民税及び事業税	43,960
法人税等調整額	14,233
法人税等合計	58,193
少数株主利益	2,951
四半期純利益	533,628

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	525,288
減価償却費	233,717
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,509
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△116,858
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	73,075
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,429
受取利息及び受取配当金	△836
支払利息	56,829
持分法による投資損益 (△は益)	△6,069
売上債権の増減額 (△は増加)	737,973
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△314,532
仕入債務の増減額 (△は減少)	△426,741
その他	△261,655
小計	493,253
利息及び配当金の受取額	836
利息の支払額	△50,811
法人税等の支払額	△52,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	390,683
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△138,150
無形固定資産の取得による支出	△76,911
その他	△11,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△226,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500,000
長期借入金の返済による支出	△60,000
配当金の支払額	△111,506
その他	△23,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△695,471
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△531,000
現金及び現金同等物の期首残高	2,680,118
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,149,118

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期（累計）に係る財務諸表

（１）中間連結損益計算書

（単位：千円）

科 目	前中間連結会計期間 自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月 30日	
	金 額	百分比
		%
I 売上高	17,161,407	100.0
II 売上原価	14,403,482	83.9
売上総利益	2,757,924	16.1
III 販売費及び一般管理費	2,126,819	12.4
営業利益	631,104	3.7
IV 営業外収益	29,153	0.2
受取利息及び配当金	1,615	
その他	27,538	
V 営業外費用	51,606	0.3
支払利息	45,894	
持分法による投資損失	2,590	
その他	3,121	
経常利益	608,652	3.6
VI 特別損失	95,355	0.6
固定資産除却損	33,069	
投資有価証券評価損	59,999	
投資有価証券売却損	109	
持分変動損失	2,176	
税金等調整前中間純利益	513,296	3.0
法人税、住民税及び事業税	41,595	0.2
法人税等調整額	△3,446	△0.0
少数株主利益	4,426	0.0
中間純利益	470,721	2.8

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前中間連結会計期間 自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 税金等調整前中間純利益	513,296
2 減価償却費	210,953
3 固定資産除却損	33,069
4 貸倒引当金の減少額	△99,128
5 賞与引当金の増加額	45,645
6 退職給付引当金の増加額	39,951
7 役員退職慰労引当金の減少額	△54,267
8 受取利息及び受取配当金	△1,615
9 支払利息	45,894
10 持分法による投資損失	2,590
11 持分変動損失	2,176
12 投資有価証券評価損	59,999
13 投資有価証券売却損	109
14 売上債権の減少額	1,267,031
15 たな卸資産の増加額	△38,227
16 仕入債務の減少額	△724,991
17 未払消費税等の減少額	△2,785
18 その他	△210,277
小 計	1,089,426
19 利息及び配当金の受取額	1,615
20 利息の支払額	△32,653
21 法人税等の支払額	△89,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	968,528
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 有形固定資産の取得による支出	△377,291
2 無形固定資産の取得による支出	△20,704
3 投資有価証券の売却による収入	10,901
4 敷金・保証金の支払額	△3,016
5 敷金・保証金の返還額	2,318
6 その他	△10,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△398,088

(単位：千円)

科 目	前中間連結会計期間 自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増加額	600,000
2 長期借入金の返済による支出	△1,270,000
3 自己株式取得による支出	△21
4 少数株主への配当金の支払額	△2,000
5 配当金の支払額	△111,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	△783,781
Ⅳ 現金及び現金同等物の減少額	△213,341
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	1,888,891
Ⅵ 現金及び現金同等物の期末残高	1,675,549

6. その他の情報

(1) 売上高及び受注の状況 (連結)

① 売上高

イ 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

区分	前第2四半期連結累計期間 自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日		対前年 同期比	前連結会計年度 自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日	
	売上高	構成比	売上高	構成比		売上高	構成比
ITソリューション	9,493,154	55.3%	9,080,298	55.7%	—	19,249,851	55.5%
プロダクト	6,361,988	37.1%	6,119,739	37.5%	—	13,160,306	38.0%
小計	15,855,142	92.4%	15,200,037	93.2%	—	32,410,158	93.5%
システム機器販売	1,306,264	7.6%	1,108,633	6.8%	—	2,236,233	6.5%
合計	17,161,407	100.0%	16,308,671	100.0%	—	34,646,392	100.0%

ロ 第1四半期連結会計期間

(単位：千円)

区分	前第1四半期連結会計期間 自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日		当第1四半期連結会計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日		対前年 同期比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
ITソリューション	3,978,624	55.1%	4,107,862	56.0%	—
プロダクト	2,761,557	38.2%	2,784,336	37.9%	—
小計	6,740,181	93.3%	6,892,198	93.9%	—
システム機器販売	485,043	6.7%	447,559	6.1%	—
合計	7,225,225	100.0%	7,339,758	100.0%	—

ハ 第2四半期連結会計期間

(単位：千円)

区分	前第2四半期連結会計期間 自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日		当第2四半期連結会計期間 自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日		対前年 同期比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
ITソリューション	—	—	4,972,435	55.4%	—
プロダクト	—	—	3,335,402	37.2%	—
小計	—	—	8,307,838	92.6%	—
システム機器販売	—	—	661,074	7.4%	—
合計	—	—	8,968,913	100.0%	—

② 受注高

イ 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

区分	前第2四半期連結累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日		対前年 同期比	前連結会計年度 自平成19年4月1日 至平成20年3月31日	
	受注高	構成比	受注高	構成比		受注高	構成比
ITソリューション	8,260,097	52.2%	8,781,125	54.0%	—	18,283,397	55.6%
プロダクト	6,129,820	38.8%	6,432,101	39.6%	—	12,020,083	36.6%
小計	14,389,917	91.0%	15,213,227	93.6%	—	30,303,481	92.2%
システム機器販売	1,428,418	9.0%	1,039,921	6.4%	—	2,569,830	7.8%
合計	15,818,335	100.0%	16,253,148	100.0%	—	32,873,312	100.0%

ロ 第1四半期連結会計期間

(単位：千円)

区分	前第1四半期連結会計期間 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日		当第1四半期連結会計期間 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日		対前年 同期比
	受注高	構成比	受注高	構成比	
ITソリューション	3,936,470	63.3%	4,271,999	58.8%	—
プロダクト	1,656,718	26.7%	2,446,018	33.7%	—
小計	5,593,189	90.0%	6,718,017	92.5%	—
システム機器販売	620,205	10.0%	547,542	7.5%	—
合計	6,213,394	100.0%	7,265,560	100.0%	—

ハ 第2四半期連結会計期間

(単位：千円)

区分	前第2四半期連結会計期間 自平成19年7月1日 至平成19年9月30日		当第2四半期連結会計期間 自平成20年7月1日 至平成20年9月30日		対前年 同期比
	受注高	構成比	受注高	構成比	
ITソリューション	—	—	4,509,126	50.2%	—
プロダクト	—	—	3,986,082	44.3%	—
小計	—	—	8,495,209	94.5%	—
システム機器販売	—	—	492,379	5.5%	—
合計	—	—	8,987,588	100.0%	—

③ 受注残高

(単位：千円)

区分	前第2四半期 連結会計期間末 平成19年9月30日		当第2四半期 連結会計期間末 平成20年9月30日		対前年 同期比	前連結会計年度末 平成20年3月31日	
	受注残高	構成比	受注残高	構成比		受注残高	構成比
ITソリューション	9,063,199	62.7%	9,030,630	64.6%	—	9,329,803	66.5%
プロダクト	4,613,911	31.9%	4,018,217	28.8%	—	3,705,855	26.4%
小計	13,677,110	94.6%	13,048,848	93.4%	—	13,035,659	92.9%
システム機器販売	783,228	5.4%	925,959	6.6%	—	994,671	7.1%
合計	14,460,339	100.0%	13,974,808	100.0%	—	14,030,331	100.0%